

MSDS (物質安全性データシート) の例

作成日 1995年5月16日

改訂日 2001年1月25日

化学物質等安全データシート(性状取扱情報)

1. 製品及び会社情報

製品名	トリクロロエチレン
会社名	霞が関工業株式会社
住所	神奈川県横浜市中区1丁目1番地
担当部門	品質保証部
担当者(作成者)	製品太郎
電話番号	045-123-4567
FAX番号	045-123-4568
製品コード	COS-0001
緊急連絡先	横浜工場(電話番号 045-123-1234)
整理番号	TCE-1

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品
化学名	トリクロロエチレン
別名	トリクロルエチレン、三塩化エチレン
成分及び含有量	99%
化学特性(化学式又は構造式)	$\text{CHCl}_2\text{=CCl}_2$
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	2-105
CAS.No.	79-01-6
化学物質管理促進法	第一種指定化学物質 政令番号 第211号
労働安全衛生法	57条の2第1項(通知対象物 政令番号第383号)

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性: 吸入したり皮膚からの体内への吸収により、中枢神経系や血液に害を及ぼす。蒸気は強い麻酔作用がある。

有害性: 蒸気は強い麻酔作用があり、肝臓や腎臓に障害を起こしうる。この液体と接触すると、目は刺激され、継続して作用を受けると皮膚も刺激される。急性毒性の結果としては、中枢神経系の一時的障害、しかし永続的障害も起こる。火災の場合は、有害な塩化水素等が発生する¹⁾。

環境影響: 水生生物に中程度の毒性を示すが、生物蓄積は低い。

物理的及び化学的危険性: トリクロロエチレンは、室温では難燃性である。しかし、高温や高酸素濃度等の特殊な条件下では引火し、時には爆発する²⁾。

主要な徴候: 麻酔作用

分類の名称: (分類基準は日本方式)

急性毒性物質、その他の有害性物質

4. 応急措置

吸入した場合: 傷病者を新鮮な空気のところに移し、窮屈な衣服部分は緩めて安楽な状態にし、医師が来るまで身体を冷やしてはならない。呼吸が停止しているときは、直ちに人工呼吸を行なうとともに、医師の診断を受けさせる。

皮膚に付着した場合: 付着した身体部位を水で洗浄する。衣服、靴及び靴下等にかかっている時は、直ちに脱がせ、それらを遠ざける。

目に入った場合: 直ちに多量の正常な流水で15分以上洗浄する。そのため、まぶたを指で上げ、同時に眼球をあらゆる方向に動かす。痛みのため目を擦ることはさせない。そして、なるべく速やかに眼科医の手当を受けさせる。

飲み込んだ場合: 無理に吐かせないで、医師の手当を受けさせる。嘔吐する場合には、少なくとも頭部を横に向ける。意識喪失の危険がある場合には、待機や搬送は安定的な側臥位で行なう。